

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月10日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		入口にはスロープの場所もあり、室内も段差のない作りになっている。	装飾を控え刺激の少ない環境設定を心掛けている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		支援終了後には毎回掃除や消毒を行い清潔に保っている。	換気を十分に行う事ができた。今後も感染対策をしていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的な振り返りを行い目標設定を行っている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者等に向けアンケートをとるなど日頃から意見や要望などに対して柔軟に対応できるように話し合いを設けている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ひまわり通信、ホームページにも掲載している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		ミーティングや資料、専門講師からの助言をいただきながら質を高める為の勉強会を行っている。	音楽療法士との研修の時間を今後も設けていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		毎月の支援会議を含め、支援の見直しを行っている。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要な場合は発達検査をお勧めし実施している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			お子さんや保護者のニーズ、困り感に合わせて計画している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士を中心に役割を分担化し計画作成につなげている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月案、週案を立案し固定化しない工夫がされている。	感触・指先・運動・集中力など様々なプログラムを今後も取り入れていく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		利用人数、子どもの状況に応じた支援、活動計画を行っている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		随時、情報の共有を行いながらそれぞれの役割、責務を果たせるよう心がけている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		気付いた点や疑問点など何でも話せる関係性の中で共有も十分に出来ている。	記録の記入と共にその日の情報交換、情報の共有を行い、支援の振り返りを行っている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人日誌、業務日誌の記録を毎日とっている。	日誌など目を通す事で、日々の改善につながるようになっている。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行っている。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が代表として参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		各関係機関と密な連携が取れている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				現在、該当する利用者様はおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				現在、該当する利用者様はおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		細やかな情報交換を行い連携に繋げている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		連携できるような体制が取れている。	移行支援シートなどを直接お伺いしてお渡しし、共有を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的に連絡会を開催し連携を図っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		並行通園児も多い為、良い交流の機会となっている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		コロナもあり、今年もリモートでの参加も行った。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		迎えの際や連絡帳を利用し、その日の様子や発達の状況などについていお伝えしている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者に向け、親子での利用を勧め支援の在り方や現状を把握してもらい、意識の改善につながる事から始めている。	音楽療法では親子で関わる良い機会となりますのでぜひご参加下さい。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		必ず、書面に目を通してもらい説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		随時、悩みや相談事を受け付けている。	心配事がございましたら遠慮なくご相談ください。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		毎月、「親の会」を開催し、交流や情報交換の場として時間を設けている。	前年度に比べ、感染対策十分に取り、親の会を開催する事ができた。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申し入れがあった場合、スタッフ間で情報を共有し対応にあたっている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月「ひまわり通信」を発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		事業所からの持ち出し禁止、個人情報情報を漏らすことがないようにしている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		丁寧な説明や付箋なども用い伝わりやすいような工夫を心がけている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			ブログを通して情報公開を行っている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		法人全体で実際に警察署の方に協力をもらい体験型の訓練を行ったり、マニュアルを作り確認できるようにしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月(火災、地震)を想定した訓練を交互に行っている。	ひまわり通信にも実施日を記載しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬依頼表を作成し、記入の依頼やアセスメントにて既往歴などの確認が出来るようにしてい	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーでは、除去食として対応している。	食物アレルギー者様の確認表を作成、掲示し確認できるようにしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			危機管理定着報告書や事故報告書を作成し、反省や振り返りに繋がられるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 1月10日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ 保護者等数(児童数) 34 回収数 34 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	97.00%	0.00%	0%	3.00%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	97.00%	0.00%	0%	3.00%		通所支援事業重要事項説明書をご覧ください。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100.00%	0.00%	0%	0.00%		改善できる事がないかその都度話し合い考慮しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.00%	0%	0%	0.00%		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	94.00%	6%	0.00%	0%		ご意見などございましたらお気軽にご相談ください。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	97.06%	0%	0.00%	3%		ご意見などございましたら、お気軽にご相談下さい。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	97.00%	3.00%	0%	0%		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	94.00%	3.00%	0%	3%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	89.00%	6.00%	0%	5.00%		多方面からの利用により交流の良い機会となっております。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	97.00%	3.00%	0%	0.00%		契約時と更新時に書面での説明を行っております。今後もより丁寧な説明を心掛けてまいります。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	91.00%	9%	0.00%	0%		お子様やご家族のニーズ、困り感に応じた支援内容を心掛けております。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	82.00%	6%	3%	9%		音楽療法など親子での利用もぜひご参加下さい。今後もお声かけさせていただきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	94.00%	3.00%	0%	0%	無記入3% コロナ禍もあり、なかなか面談などが無かった。	ご不明な点は遠慮なくご相談下さい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	88.00%	6.00%	3.00%	3%	コロナ禍もあり、なかなか面談などがなかった。	電話対応させていただく事が多かったかと思えます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	65.00%	6.00%	5.00%	24.00%		コロナ禍ですが前年度に比べ「親の会」を開催出来たかと思えます。

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	94.00%	3%	0%	3.00%	心配事などございましたら、いつでもご相談下さい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	97.00%	3.00%	0%	0%	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	88.00%	9.00%	0%	3.00%	ひまわり通信に同報したりホームページに載せておりますのでご覧ください。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	94.00%	3%	0%	3.00%	写真掲載時など個人情報取り扱いの書面にて承諾いただいております。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	82.00%	6.00%	3%	9%	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	94.00%	6.00%	0%	18.00%	毎月、避難訓練を実施しひまわり通信にも実施日を記載しております。今後も子ども達の成長に寄り添えるよう支援させていただきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	94.00%	6.00%	0%	0%	とっても楽しんで通所しています。
	23	事業所の支援に満足しているか	97.00%	3.00%	0%	0%	・本当にありがたい気持ちでいっぱいです。 ・いつも感謝しています。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月10日

事業所名 : 発達支援センターひまわりクラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動や状態に合わせて部屋の使い分けや工夫を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		入口等のスロープの場所もあり、室内も段差がなく適切である。	日々の清掃を通して危険な箇所がないか把握に努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			定期的に振り返りを行い目標設定を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者等に向けアンケートをとる等、普段から意見や要望などに対して柔軟な対応を取っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			集計結果をお渡ししていると共に、ホームページにも掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		専門講師からの助言や資料を通して質の向上となるよう努めている。	音楽療法士との研修など今後も時間を設けていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		毎月支援会議を行い、支援の見直しを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要がある場合は発達検査等をお勧めし実施している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士を中心に役割を分担し、計画・作成している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		月案を立案し固定化しないよう工夫している。	感触・指先・運動・集中力など様々なプログラムを今後も取り入れていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個々のニーズや課題を把握する事で細やかな支援ができるよう努めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前や前日に内容の確認を行っている。	随時、情報共有を行う事でそれぞれの役割や支援の在り方の確認となっている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		記録の記入と共にスタッフ間での情報交換を行い支援の振り返りを行っている。	職員によって退社時間が異なる為、それぞれの勤務態勢でも情報の共有が出来るよう工夫している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個人日誌、業務日誌の記録をとっている。	日々の記録に目を通すなど情報の共有や振り返りをする事で改善に繋げている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が代表として参画している。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		毎月、学校から日程表を提出してもらい、当日利用予定者様をfaxし確認してもらうなど把握に努めている。	時間割の変更が多く、担当への確認が必要であった。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					現在、該当に当たる利用者様はおりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している					
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				定期的に連絡会を開催し情報交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			多方面からの利用があり、良い機会となっている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			迎えの際など、その日の様子などしっかり伝える事で共通理解につなげている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			状況に応じて助言などを行っている。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			書面に目を通してもらい説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			心配事には時間を設けて対応させていただいている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			毎月「親の会」を設け、保護者同士の交流や情報の場として時間と場所の提供をしている。	前年度に比べて親の会を開催する事ができたと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情などに関しても記録を取り、スタッフ間で情報の共有を行うと共に、適切に対応できるよう議題にもあげている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月「ひまわり通信」を発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○				事業所からの持ち出し禁止、個人情報を漏らすことがないようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			丁寧な説明や付箋なども用いるなど、伝わりやすくなるような配慮を心掛けている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		ブログにて情報の公開を行っている。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		法人全体で実際に警察署の方に協力をもらい体験型の訓練を行ったり、マニュアルを作り確認できるようにしている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月(火災、地震)を想定した訓練を交互に行っている。	ひまわり通信にも実施日を記載している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人での研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				現在、該当する利用者様はおりません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		食物アレルギーでは除去食として対応している。	食物アレルギー者様の確認表を作成、掲示し確認できるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			危機管理定着報告書や事故報告書を作成し、反省や振り返りに繋がられるようにしている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 1月10日

事業所名 発達支援センターひまわりクラブ

保護者等数(児童数) 23

回収数20

割合 86.956 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	95%	5%	0%	0%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	90.00%	10.00%	0%	0%		通所支援事業重要事項説明書をご覧ください。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	0%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100.00%	0.00%	0%	0%		ご意見などございましたらお気軽にご相談下さい。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	95.00%	5.00%	0%	0%		今後も工夫や改善に努めて参ります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	60.00%	30.00%	10.00%	0%		
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	95.00%	5.00%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	95.00%	5.00%	0%	0%		ご不明な点等ございましたら遠慮なくご相談下さい。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90.00%	10.00%	0%	0%	先生方と話すと安心します。	必要に応じて面談やお話しをさせていただいております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	75.00%	20.00%	0%	5%		前年度に比べて親の会を開催する事が出来たと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	85.00%	15.00%	0%	0%		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.00%	0.00%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	85%	10%	0%	0%	毎月の便り(写真付き)を楽しみに読んでいます。	ひまわり通信に同封し、ホームページにも掲載しております。ぜひご覧ください。
14 個人情報に十分注意しているか	90.00%	10.00%	0%	0%		個人情報の取り扱いについては契約時に毎回確認をとっております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	85.00%	10.00%	0%	5%		ひまわり通信等を利用し発信していきたいと思っております。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	95.00%	5.00%	0%	0%		毎月、訓練日をひまわり通信にも記載しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	95.00%	5.00%	0%	0%	土日ひまわりに行きたいと言っています。	今後も子どもたちの成長と一緒に見守るお手伝いをさせていただきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	100.00%	0.00%	0%	0%		今後も満足いく支援に繋げていけるよう邁進してまいります。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。